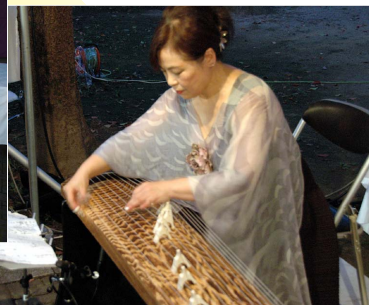


被爆64年 ヒロシマ

広島市医師会原爆殉職会員並びに医療従事者追悼式

— 核兵器廃絶のために活動を Yes, we can —



平成21年8月6日(木)午後7時より、平和大通り緑地内の広島市医師会原爆殉職碑前(中区小町)で、広島市医師会原爆殉職会員並びに医療従事者追悼式が厳かに執り行われ、多数の関係者をはじめ被爆者、遺族が鎮魂の祈りを捧げた。

追悼式が終わったのちも、殉職碑の追悼行事として慰霊碑のライトアップが行われ、時折足を止める市民の姿がみられた。

遺族、来賓など関係者約100名が参列する中、正岡亨広島市医師会理事の司会進行により開会、一同黙祷ののち、主催者である平松恵一広島市医師会長(長崎孝太郎副会長代読)、来賓を代表して碓井静照広島県医師会長がそれぞれ追悼の辞を述べた。唐澤祥人日本医師会長より「原爆記念日にあたり、亡くなられた多くの方々に哀悼の意を捧げるとともに、戦争のない恒久平和を心よりお祈りいたします」と、野田剛稔長崎市医師会長より「広島原爆の日にあたり、犠牲となられた貴会会員並びに医療従事者をはじめ、多くの尊い御霊に謹んで追悼の意を表し、あわせて核兵器の廃絶と世界の恒久平和を祈念いたします」との電報披露が行われた。

追悼電報が紹介されたのち、箏奏者 榊 記彌栄(さかききみえ)さんによる凜としていながら、時に優しい箏の演奏の中、広島市医師会副会長をはじめとする代表献花、順次参列者から献花が行われ式典は無事終了した。

明け方に降った小雨のためか、例年にもまして蒸し暑かったこの日、市内各所では夜明け前から原爆犠牲者の鎮魂と祈りの行事が行われた。

平和記念式典の平和宣言で秋葉市長は、原爆を投下したことに対して、米国オバマ大統領が「道義的責任」があると明言したプラハ演説を引用。また被爆75周年にあたる2020年までの核兵器廃絶を目指す「2020ビジョン(核兵器廃絶のための緊急行動)」についても触れ、2020年が大切なのは「一人でも多くの被爆者とともに核兵器の廃絶される日を迎えたいから」であり、私たちの世代が核兵器を廃絶しなければ「次の世代への最低限の責任さえ果たしたことはない」。私たちは「核兵器廃絶のために活動する責任がある」と強く宣言し、最後は英語で世界へ呼び掛けた。

We have the power. We have the responsibility. And we are the Obamajority. Together, we can abolish nuclear weapons. Yes, we can.

私たちには力があります。私たちには責任があります。そして、私たちはオバマジョリティーです。力を合わせれば核兵器は廃絶できます。絶対にできます。(広報課)

追 悼 の 辞



(代 読)

広島市医師会副会長
長 崎 孝太郎

本日ここに、広島市医師会原爆殉職会員並びに医療従事者の追悼式を挙行するにあたり、殉職された御霊に謹んで哀悼の誠を捧げます。

64年前の今日、この広島の上空で炸裂した原子爆弾により、広島は人類史上類をみない大惨禍を被り、壊滅的な打撃を受けました。

当時、県知事からの防空業務従事令書によって行動を束縛されていた医師並びに医療従事者は、その多くが一瞬にして尊い犠牲となりました。九死に一生を得た者も、傷ついた我が身を顧みず、被災者の救護活動に身を挺して尽くされ、ついに帰らぬ人となられた方々のことを偲ぶとき、哀悼の念を禁ずることができません。また、被爆後に広島市外から救護のためにつけられた多くの医師並びに医療従事者の存在も忘れることはできません。

あの忌まわしい日から64年。平和を願う広島でされる5月のフラワーフェスティバルには、この殉職碑を中心とする広島市医師会のブースで、救急法の実演、医療相談、折鶴教室などのイベントを行い、多くの来場者が立ち寄られます。

この殉職碑の説明パネルの前に立ち止まり、そして原爆ドームに正面を向けて建てられた大きな碑を仰ぎ見て、原爆投下時に思いを馳せ、自然に手を合わせられます。

本年4月、アメリカのオバマ大統領は、チェコの首都プラハで「核兵器のない世界の平和と安全保障の実現に取り組む」ことを宣言されました。また、7月にイタリアで行われたラクイラ・サミットのG8首脳宣言に、「核兵器のない世界に向けた状況をつくることを約束する」と明記されました。こうした世界の指導者の決意を信じ、今後の具体的行動に期待したいと思います。

私ども広島市医師会員は、殉職された方々の尊い犠牲を忘れることなく、IPPNW(核戦争防止国際医師会議)等の活動を通じて、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向かって一層努力することをお誓い申し上げ、追悼のことばといたします。

平成21年 8月 6日

広島市医師会 会長 平 松 恵 一

平成21年 広島市医師会原爆殉職会員並びに医療従事者追悼式 式次第

日時 平成21年 8月 6日(木) 午後7時

場所 広島市医師会原爆殉職碑前 (中区小町)

司会 正岡理事

一、開式の辞

二、黙 禱

三、追悼の辞

広島市医師会会長

四、来賓 追悼の辞

広島県医師会会長

五、追悼電報 紹介

六、代表献花

広島市医師会会長

ご遺族代表

広島市長

広島県医師会会長

広島原爆障害対策協議会会長

放射線影響研究所理事長

安佐医師会会長

安芸地区医師会会長

広島県看護協会会長

広島市医師婦人会代表

七、閉式の辞

慰霊の演奏〔箏曲〕 奏者 榊 記彌栄
殉職碑のライトアップ

追 悼 の 辞



広島県医師会長
碓井 静照

第64回目の広島市医師会原爆殉職会員並びに医療従事者の追悼式に臨むに当たり、亡くなられた方々の御霊に、謹んで心からの哀悼の意を捧げます。

私は今日の日を、これまでとはやや違う思いで迎えています。核保有大国の大統領が、就任演説において、核の脅威を減らすことに言及し、今年4月のプラハ演説では「核を使用した唯一の保有国としての道義的責任」に触れ、「核のない、平和で安全な世界を米国が追求していくことを明確に宣言する」と述べ、核軍縮や核不拡散の国際的な制度強化を主導する考えを打ち出しました。

評価はいろいろとあるとは思いますが、私はこの変化を秋葉広島市長の提唱するオバマジョリテイとして歓迎したいと思います。アメリカで初めてのアフリカ系大統領の誕生は、アメリカの再生への力を感じさせます。オバマ大統領の下で、核廃絶の動きが着実に前進することを、心から強く願っています。

このような中で、去る5月に、北朝鮮が2回目の核実験を実施しました。広島県医師会では、直ちに北朝鮮に対して、抗議文を送付しました。弾道ミサイルの発射などと合わせて、世界の動きに逆行したものと云わざるを得ません。

64年前のここ広島の地では、核兵器により未曾有の悲劇がもたらされました。我々は、二度とこのような悲劇が人類にもたらされることのないように願い、そのための努力を先人から引継いでまいりました。その我々の思いが実現に向かって動く希望が芽生え始めたこの時に、新たな核実験が強行されることは、断じて許すわけにはいきません。

日頃我々が、医療人として全精力を傾けて救おうとしている人の命が、核兵器によりいとも簡単に奪われてしまう脅威を許す訳にはいかないのです。

今月、8月22・23日の二日間に亘って、IPPNW日本支部はこの広島において、IPPNW南北アジア合同地域会議を開催し、核兵器廃絶への新たな立場での模索をしようとしています。

64年目のこの日を迎え、あの原爆投下の日、志半ばで人生を奪われた幾多の先輩方の無念さに思いを馳せ、核兵器のない平和で幸せな社会のために尽くす決意を新たにいたしまして、追悼の言葉と致します。

合 掌

平成21年 8月 6日

広島県医師会長・IPPNW日本支部長 碓井 静照

